「ロックスターになりたかった」男が作ったメキシカンバー

TEX MEX DINER バーボンハウス

市場の青果店に就職、トラックの運転手に

高円寺の人々は彼を〝バーボン〟と呼ぶ。本名・島田功さん（49歳）。築地市場で働いていた時代に付いたニックネームだ。

「築地市場の青果店、要するに八百屋で働いていた頃、市場の仲間同士で刑事ドラマみたいにあだ名を付けるのが流行ったんですよ。俺はみんなに『今日からバーボンと呼んでくれ』と言いました。それが定着したというわけです」

神奈川県の藤沢市生まれ。3歳の時に千葉市に引っ越した。父親が国際線のパイロットだった関係で、ローマに住んだこともある。大学卒業後はトラックの運転手の道を選んだ。なぜ、大卒でトラックの運転手なのか。

自慢の「ナチョス」を手に微笑む店主の〝バーボン〟。築地市場の青果店で働いていたが、縁あって高円寺に店を構えた

「こういう話は恥ずかしいんだけど、当時は本気でロックスターを目指していたんですよ。活動場所は主に千葉市内のライブハウス。夕方の3時ぐらいからリハが始まって夜の9時ぐらいに出演が終わる日々。それ以外の時間帯で働ける仕事って何だろうと考えた結果、魚屋か八百屋かなと」

千葉市の中央卸売市場に入っている青果店に就職したところ、ふたを開けてみると下請けの運送会社への配属辞令。こうして、彼はトラックの運転手になった。その後、築地市場の青果店に転職。市場内の寮に住んでいた。

お酒の仕入れ方も知らないという無茶な状態でした

ロックスターになるという夢は20代半ばで諦めたという。しかし、30歳を迎えた頃に人生の大きな転機が訪れる。高円寺が彼を呼び寄せたのだ。

「築地青年会の草野球チームに入っていたんですが、そこで高円寺の草野球チームの男と知り合いました。すっかり意気投合して、高円寺の人たちと馬橋公園のグラウンドで野球をしたり、打ち上げで酒を飲んだりする仲になったんです。大将3号店で飲んだ日のことはよく覚えています。雪が降っていたから」

それまでは飲み歩くという習慣はなかった。仕事の付き合いで飲むのも面倒で、誘いも極力断っていたという。しかし、高円寺で気の合う仲間たちと盃を交わす楽しさを初めて知った。そして、ドラマは始まる。

「北中通りの突き当たりに『カオスパニック』というバーがあって、よく通っていたんですが、ある時、マスターから『店を畳もうと思う』と言われて。好きな店がなくなるのは寂しいし、酔っていたんでしょうね。気付いたら『俺、後を継ぎますよ』と言っていました」

酒の席の決意は揺らぐことはなかった。2002年、32歳の転機である。数ケ月後に大家さんと賃貸契約を結んだ。

純情商店街に移転するタイミングで新調した看板。デザインは北中通り時代から親交がある常連客によるもの

「とはいえ、お金もないから改装は地道にDIY。まだ八百屋で働いていたので、寝る時間はほとんどなかったですね。しかも、お酒の仕入れ方も知らないという無茶な状態でした。知り合いにはオープンの告知をしましたが、一向に営業を開始しない。見兼ねた高円寺文庫センターの店長が『見切り発車でいいじゃない』と言って大宴会を開いてくれたんです。本当に助かりました」

年収80万円からのスタートだったが、3、4年目から営業は順調になる。そして、2010年に純情商店街の入り口に移転した。

ドリンクもフードも、すべて「全力で開発した」オリジナルメニュー

この場所で営業していたカフェが閉店するという情報を不動産屋から聞いて、その15分後には決断を下す。

純情商店街は若者も老人もみんな元気

新しい店のテーマは「メキシカン」。バーでの経験を活かして美味しいバーボンとテキーラを揃え、青果店で働いた知識を元に新鮮な野菜を仕入れる。店の経営はさらに勢いを増している。

ここで、看板メニューを撮影したい旨を告げた。店主が選んだのは、女性に大人気だという「フローズンマルガリータ（880円）、ビールによく合う「ナチョス（ミディアム・660円）、ロックフェスでバカ売れする「アボカドチーズコロッケ（418円）の3品。ナチョスの皮は自家製。アボカドの目利きも万全。いずれも、最高の素材を揃えたうえで、試行錯誤を重ねて完成にこぎ着けた自信メニューだ。

「純情商店街は若者も老人もみんな元気。あと、移転して感じたのは『努力が報われる商店街』だということ。お酒にしても料理にしても自分の強みをアピールすると、お客さんが必ず応えてくれるんですよ」

大きな窓から臨めるのは北口広場と高円寺駅。窓際の席はただでさえ見晴らしがよいが、「阿波おどり」や「びっくり大道芸」といったイベントの日には文字通りの特等席となる。「酒の席での約束は絶対に守る」。この信条を守ってきた男は、純情商店街のランドマークともいえる店を進化させ続けている。

棚にはバーボンとテキーラのボトルがずらりと並ぶ。中にはレアな銘柄も

純情ポイント！

商店街からメキシコを発信。
「酒の席での約束は
絶対に守る」のが信条

店舗データ

住 高円寺北3-23-13
営 11:30〜25:00
休 無休
電 03-6750-8233